

記者資料提供（2025年9月16日）

神戸市健康局保健所保健課 南谷・森本

TEL：078-322-6789 FAX：078-322-6763

エムポックス(クレードI b)患者の発生について

市内医療機関を受診した患者について、神戸市健康科学研究所でウイルス検査を行った結果、2025年9月13日(土曜)にエムポックス(ウイルス型:クレードI b※)と判明しました。この型が国内で検出されたのは初めてです。

エムポックスは、日本国内では2022年7月以降、累計254件の届出があります。(2025年9月12日時点)

※エムポックスウイルスは、大きく2つのグループに分かれており、中央アフリカに常在するウイルスがクレードI、西アフリカに常在するウイルスがクレードIIと呼ばれています。

2023年以降にヒトの間で持続的に伝播して流行を起こした型が、クレードIの中でも特にクレードI bと位置付けられています。

1. 患者の概要

- ・性別：女性
- ・年齢：20代
- ・症状：発疹、水疱、発熱、リンパ節腫脹
- ・医療機関受診日：9月12日
- ・海外渡航歴：有(アフリカ)
- ・その他：調査の結果から、アフリカでの感染が推定される。
患者の状態は安定している。

※報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。

2. 市民の皆様へ

- ・エムポックスは、エムポックスウイルスによる感染症で潜伏期間は7～14日(最大5～21日)とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節の腫れなどの症状が0～5日程度持続し、発熱1～3日後に発疹が出現します。多くの場合は2～4週間ほど症状が続いた後自然に回復しますが、稀に重症化することがあります。
- ・感染した人や動物の皮膚の病変、体液、血液との接触(性的接触を含む)や患者と近距離での対面で長時間飛沫にさらされること、感染している人が使用した寝具等との接触等により感染します。
- ・万一、感染が疑われる症状がある場合は、医療機関に「エムポックスの可能性がある」とご相談ください。医療機関を受診する際は、マスクの着用、発疹部位をガーゼなどで

おおうなどの対策をしてください。

3. 参考

- ・ 神戸市ホームページ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/mpox/mpox.html>

- ・ 厚生労働省ホームページ「エムポックスについて」をご確認ください。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/monkeypox_00001.html